

心の東高だより



シマレ
ガルバ

No.162

http://www.ah.hokkaido-e.ed.jp/

PTA事務局 ☎ 070-0036 旭川市6条通11丁目 ☎ 23-2855

目次

- 1頁 校長祝辞/PTA会長祝辞/卒業生を代表して(全・定)
 2頁 卒業担任より(全・定)
 3頁 卒業生へ贈る言葉(全・定)/卒業会/退職によせて

- 4頁 学校祭/全校応援/急募大会
 5頁 見学旅行/定期試験より
 6頁 部活動報告

祝辭



校長
三条 歩

回り道のその先に



PTA会長
北岸 睦

旅立ちのエール



全日制3年
斎藤 時広

何者かになる旅

卒業生の皆さん、保護者の皆様、卒業おめでとうございます。新たな旅立ちに大きな期待とエールを送ります。

皆さんには、学校標語「シマレガルバ」のもとに、白い目標を高く掲げ、学びへの真摯な姿勢と進路実現に「挑戦」する意識を堅持し、何事にも全力を尽くす中で、温しく成長したと思います。三年間の努力に心より敬意を表します。

さて、それぞれの人生に旅立つ皆さんには、失敗や挫折は当たり前だという生き方をしてほしいと願っています。再生医療につながるiPS細胞を生み出し、ノーベル生理学・医学賞を受賞した京都大学の山中伸弥博士でさえ、手術が下手で整形外科医を断念したことから始まり、若すぎる留学先に断られ続けたり、出入口の見えない研究でうつ病になりかかたりと、その人生は挫折と失敗の連続だったそうです。

研究の世界では、一つの仮説を検証するために、実験を繰り返し、データを収集して、分析するなど、膨大な手間と時間がかかります。仮説を証明できないこともあります。これは研究の世界だけの話ではありません。皆さんは、人生でいく社会でも、物事が順調に進むのはまれで、やつたことが無駄だと思うことや、八方あざがりで絶望的になることもあります。しかし、失敗や無駄だと思えることがあります。しかし、失敗や無駄だと思える回り道にこそ成功の鍵が隠れていることがあります。

これから皆さんは、夢を実現するための新しい扉を開こうとしています。扉の先は険しい道かもしれません。しかし、うまくいかないことが当たり前だと思うことで、失敗を恐れず、困難に対してもあきらめない生き方ができるはずです。是非、本校で学んだことに誇りと自信をもち、物事を肯定的に捉えて、人生を積極的に歩んでください。卒業生の皆さんのご活躍とご多幸を心より祈念します。

卒業生の皆さん、保護者の皆様、卒業おめでとうございます。新たな旅立ちを迎えた東高卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。そして新型コロナ感染症による学校生活の制約・制限がありながらも、無事卒業まで子どもたちを導いて頂きました教職員の皆様には大変感謝申し上げます。

さて、昨年四月の法律改正で成人年齢が十八歳に引き下げられたことにより、卒業される皆さんは、国内社会ではもう成人として扱われる事になりました。成人となつたことで、自分自身の行動に対する責任や社会活動への参加などが自分の意思で決められることになったのです。しかしながら、ようやく今高校生活が終わり、まだ社会での経験が少ないので、皆さんは、これから社会へと羽ばたいていく、いわば準備期間ともいえます。これまで中身の無い人生を送つてしまつたのだろうかと嘆きたくなる。しかし、こんな悲観的な自分はこの原稿を書き終えた頃にはもういない。なんて中身の無い人生を送つてしまつたのだろう。自分の手には高校生活への感傷や反省を遠かに上回る希望がある。何とかなりたい。そんな漠然とした希望を取り巻く何かがあつたとしても、東高で培つたシマレガルバの精神で努力を続け、高校生活をやりきった皆さんならば、自分を信じて決断できるはずです。

そんな皆さんにアプロ野球やメジャーリーグで大活躍し、数々の偉業を打ち立ててきたイチロー選手の言葉を紹介します。



4年間の学校生活を終えて

佐々木 友
定時制4年

今振り返れば、本当に3年前に入学してきました。何を考えて生活していたのか、どんな気持ちで生活していたのか。きっとそんな時も心を明かに思い出すことはできません。しかし今その記憶を克明に思い出すことはできません。卒業を目前にする今だからこそ、高校生の自分が自らを選択した事は何だろうか、という極めて観察的な問いの答えを先の記憶を辿つて出します。

さて、この原稿を書き終えた頃にはもういなかった。だから壁があるときはチャンスだと思っている。これまでの、そしてこれから頑張りが、この先立ちちはかかる壁を必ず起えていくことができる信じる信じ、次の世代へと明るい未来を切り拓く皆さんの活躍を私たち親は、心より応援し、そして楽しみしております。

4年間のうち、3年以上にわたって新型コロナの影響で制限が加えられた学校生活でした。しかしその間、生徒会主として2期勤め、学級やレクレーション大会などみんなで知恵を競い、楽しい時間を過ごしたこと。パートと学校の両立が辛く大変なこともあつたけれどクラスメイトと楽しく学び合えたことが成長に繋がったと思います。本当に残るものとなりました。最後に卒業するまで、お世話をなつた先生方、給食調理の方、クラスメイトのみんな本当にありがとうございました。愛しています！

卒業担任より



学年主任・1組担任

渡部 真紀

3期生のみなさん、コロナの影響で異例づくめの3年間となりましたね。宿泊研修は中止（けれど楽しい）、尼東フロンティア2020が中止（けれど楽しむ）、尼東祭も中止、2年次の東高祭は生徒と教員のみ（動線を決め、密を避け……）で楽しむ、「尼東お疲れ様！」、見学旅行は自主研修なし（でもつづってもスペシャルな内容で、人生最高の思い出）、「尼東がおかしくなりそう」という感想もありました。3年次の学校祭のクラス展示、「山中・・見事でした。そして野球部の活躍で合計4回の全校授業」などなど、人生で5回目、東高では初めて卒業生を送り出すことになりました。5回とも思い出になる生徒ばかりです。個性的な子が多くたですね。私は皆さんがやりのままに、自分の素顔を隠さなくていい場を提供し、ノビノビとした環境を整えるのが第一の仕事とさせてきました。それが白公に合っている人、誰に道標を言わないので戸惑う人、どちらともいたことでしょう。今の世の中はより不条理になっているな、と思います。だからこそ、信頼のできる仲間、東高生の仲間が必要なのかな、たまには遊びに来なさい。愚痴を語らっぱい聞いてあげるから！」



2組担任

吉田 誠

卒業おめでとうございます。人生で5回目、東高では初めて卒業生を送り出すことになりました。5回とも思い出になる生徒ばかりです。個性的な子が多くたですね。私は皆さんがやりのままに、自分の素顔を隠さなくていい場を提供し、ノビノビとした環境を整えるのが第一の仕事とさせてきました。それが白公に合っている人、誰に道標を言わないので戸惑う人、どちらともいたことでしょう。今の世の中はより不条理になっているな、と思います。だからこそ、信頼のできる仲間、東高生の仲間が必要なのかな、たまには遊びに来なさい。愚痴を語らっぱい聞いてあげるから！」



4組担任

富田 一茂

卒業おめでとうございます。人生で5回目、東高では初めて卒業生を送り出すことになりました。5回とも思い出になる生徒ばかりです。個性的な子が多くたですね。私は皆さんがやりのままに、自分の素顔を隠さなくていい場を提供し、ノビノビとした環境を整えるのが第一の仕事とさせてきました。それが白公に合っている人、誰に道標を言わないので戸惑う人、どちらともいたことでしょう。今の世の中はより不条理になっているな、と思います。だからこそ、信頼のできる仲間、東高生の仲間が必要なのかな、たまには遊びに来なさい。愚痴を語らっぱい聞いてあげるから！」



6組担任

深山 尚仙

卒業おめでとうございます。人生で5回目、東高では初めて卒業生を送り出すことになりました。5回とも思い出になる生徒ばかりです。個性的な子が多くたですね。私は皆さんがやりのままに、自分の素顔を隠さなくていい場を提供し、ノビノビとした環境を整えるのが第一の仕事とさせてきました。それが白公に合っている人、誰に道標を言わないので戸惑う人、どちらともいたことでしょう。今の世の中はより不条理になっているな、と思います。だからこそ、信頼のできる仲間、東高生の仲間が必要なのかな、たまには遊びに来なさい。愚痴を語らっぱい聞いてあげるから！」



定時制 3年担任

水本 朔

卒業おめでとうございます。私は初めての担任であり、皆さんは初めての卒業生となります。今思ひ返せば、壮絶な毎日であったと感じています。ここまことに頑張りました。皆さんは、登校前に早朝からアルバイトを行い、登校後も学業へ取り組む日々を過ごしました。学校以外では、就業認定試験や休日の授業を利用し、3年間で卒業するため努力をしてきました。私が高校生のときのことを思い返してみると、皆さんのやつてきたことは本当に良いことであつたと感じています。

最後になりますが、東高は定時制で学んだことを忘れず、社会へ飛び立つてはしないと思つております。卒業後も、笑顔で元気な皆さんでいてください。改めて、卒業おめでとうございます。



3組担任

飯田 一三



5組担任

山下 元



定時制 4年担任

村上 恵美子

「長いようで短かつた？」

卒業生へ贈る言葉



「送る言葉」台本

2年5組

高野 晴



「送る言葉」台本

2年2組

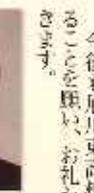
濱田 春樹

上映型予饗会

退職によせて

て気にはならなかつた。東高での3年間があるんで、大学でなんどいと周囲のことはほんとあります。その強さに本当に感謝を受けたことを覚えてます。今後も旭川東高校が「東高生」を育む学舎であることを熙々、お礼がたがた交換してもらいます。

「母校が増えた」
全日制（地歴公民）
田熊 優治



全日制（国語）

山根有希子



面白がり

「あなたかな春の口差しの中、」から始まるのは母校の小学年の卒業式の一幕です。この言葉が終わるとすぐに数人が立ち上がり、一人ずつ「〇〇」としてくれた六年生! とありますだけの声で叫ぶのです。それが私の母校の伝統でした。

「あなたかな春の口差しの中、たくさん思ひ出、夢、希望を胸に、旅立とうとしている二年生、在校生からみなさんに、お礼の言葉を送ります。」
(代表者起立)

「いつも私たちを支えてくれた、三年生!」「部活動でリーダーシップを發揮てくれた、三年生!」「学校祭を全力で盛り上げてくれた、三年生!」「私たちに目指すべき姿を見せてくれた、三年生!」「私たちはそんな素晴らしい三年生のことを」
(全員起立)
「これからもみんなは、私たちの憧れの先輩です!」
(全員起立)

「三年生のみなさん、今までありがとうございました。」「さよなら。ご卒業おめでとうございました。」

「卒業生へ」
定期制3年

柴野 七葉

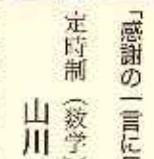


「東高に教わる」
全日制（英語）
山下 元



定時制（数学）

山川 和志

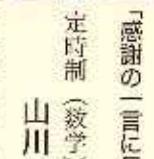


「感謝の一言に尽きます」

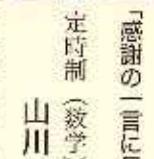


定時制（数学）

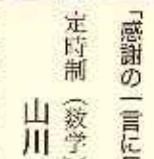
山川 和志



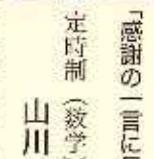
「感謝の一言に尽きます」



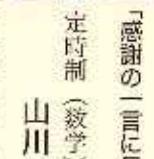
「感謝の一言に尽きます」



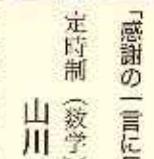
「感謝の一言に尽きます」



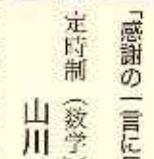
「感謝の一言に尽きます」



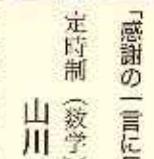
「感謝の一言に尽きます」



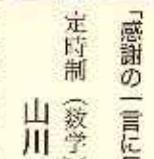
「感謝の一言に尽きます」



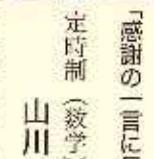
「感謝の一言に尽きます」



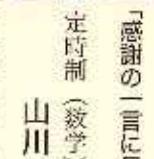
「感謝の一言に尽きます」



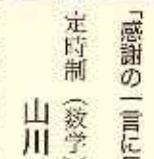
「感謝の一言に尽きます」



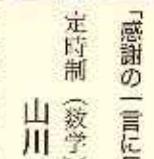
「感謝の一言に尽きます」



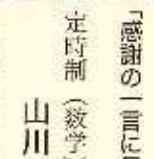
「感謝の一言に尽きます」



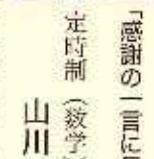
「感謝の一言に尽きます」



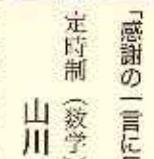
「感謝の一言に尽きます」



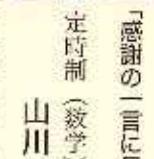
「感謝の一言に尽きます」



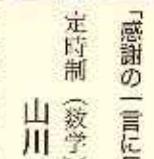
「感謝の一言に尽きます」



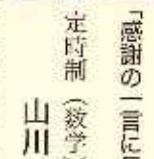
「感謝の一言に尽きます」



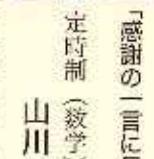
「感謝の一言に尽きます」



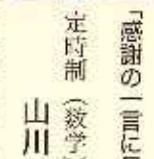
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



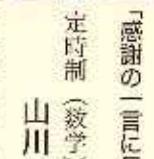
「感謝の一言に尽きます」



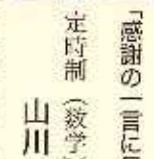
「感謝の一言に尽きます」



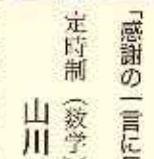
「感謝の一言に尽きます」



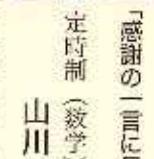
「感謝の一言に尽きます」



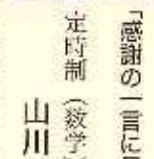
「感謝の一言に尽きます」



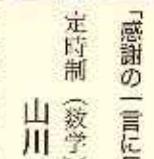
「感謝の一言に尽きます」



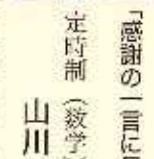
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



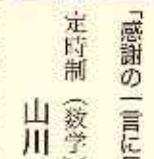
「感謝の一言に尽きます」



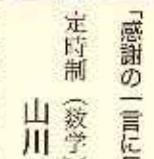
「感謝の一言に尽きます」



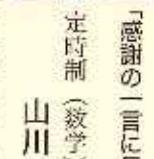
「感謝の一言に尽きます」



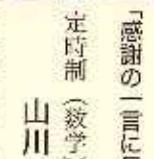
「感謝の一言に尽きます」



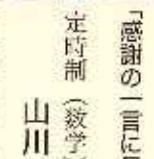
「感謝の一言に尽きます」



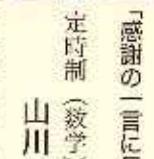
「感謝の一言に尽きます」



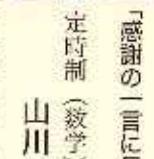
「感謝の一言に尽きます」



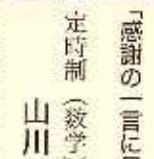
「感謝の一言に尽きます」



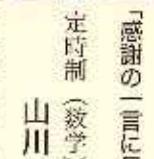
「感謝の一言に尽きます」



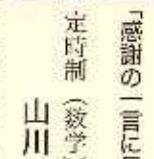
「感謝の一言に尽きます」



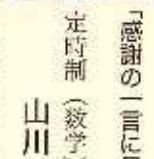
「感謝の一言に尽きます」



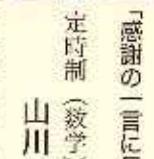
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



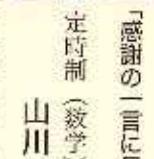
「感謝の一言に尽きます」



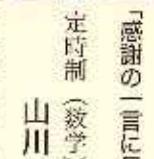
「感謝の一言に尽きます」



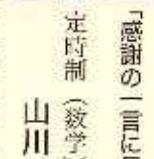
「感謝の一言に尽きます」



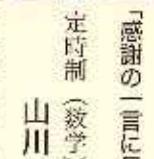
「感謝の一言に尽きます」



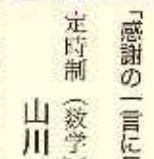
「感謝の一言に尽きます」



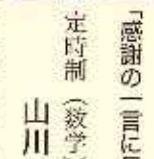
「感謝の一言に尽きます」



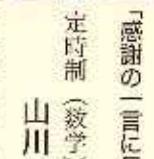
「感謝の一言に尽きます」



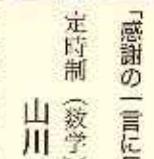
「感謝の一言に尽きます」



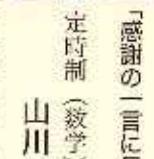
「感謝の一言に尽きます」



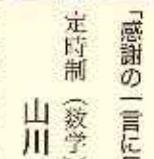
「感謝の一言に尽きます」



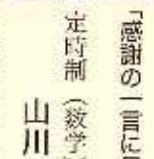
「感謝の一言に尽きます」



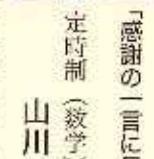
「感謝の一言に尽きます」



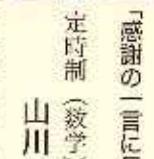
「感謝の一言に尽きます」



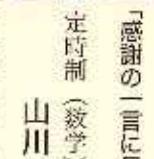
「感謝の一言に尽きます」



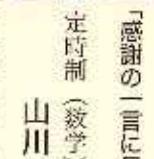
「感謝の一言に尽きます」



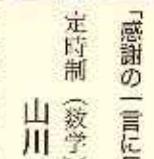
「感謝の一言に尽きます」



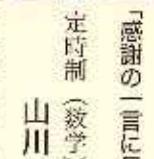
「感謝の一言に尽きます」



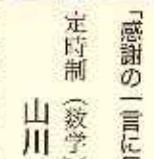
「感謝の一言に尽きます」



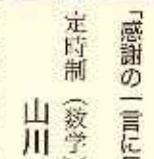
「感謝の一言に尽きます」



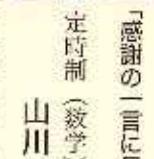
「感謝の一言に尽きます」



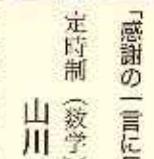
「感謝の一言に尽きます」



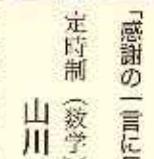
「感謝の一言に尽きます」



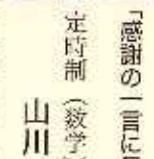
「感謝の一言に尽きます」



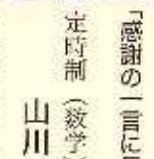
「感謝の一言に尽きます」



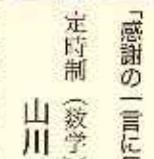
「感謝の一言に尽きます」



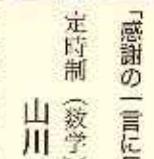
「感謝の一言に尽きます」



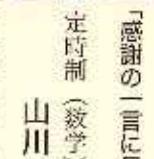
「感謝の一言に尽きます」



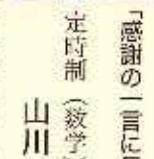
「感謝の一言に尽きます」



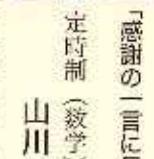
「感謝の一言に尽きます」



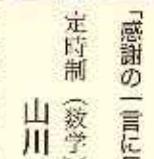
「感謝の一言に尽きます」



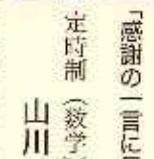
「感謝の一言に尽きます」



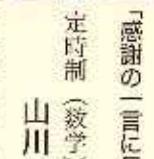
「感謝の一言に尽きます」



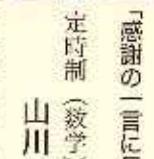
「感謝の一言に尽きます」



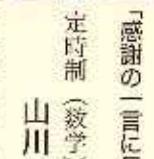
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



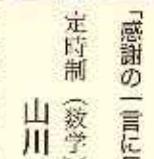
「感謝の一言に尽きます」



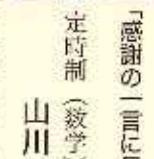
「感謝の一言に尽きます」



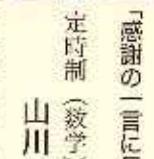
「感謝の一言に尽きます」



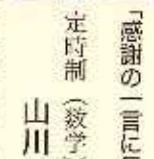
「感謝の一言に尽きます」



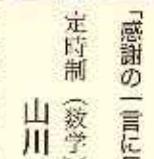
「感謝の一言に尽きます」



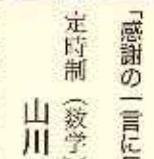
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



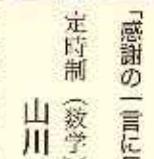
「感謝の一言に尽きます」



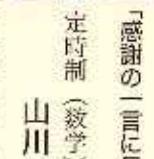
「感謝の一言に尽きます」



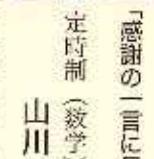
「感謝の一言に尽きます」



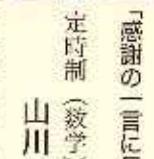
「感謝の一言に尽きます」



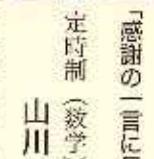
「感謝の一言に尽きます」



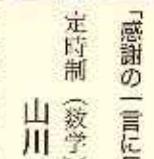
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



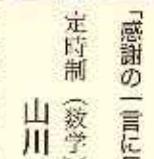
「感謝の一言に尽きます」



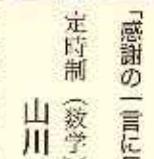
「感謝の一言に尽きます」



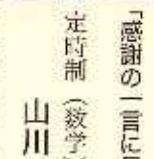
「感謝の一言に尽きます」



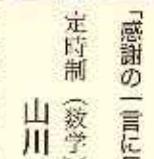
「感謝の一言に尽きます」



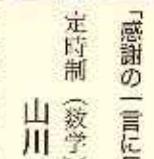
「感謝の一言に尽きます」



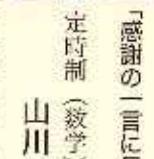
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



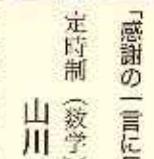
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



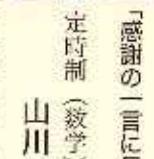
「感謝の一言に尽きます」



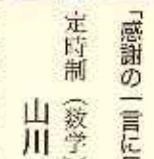
「感謝の一言に尽きます」



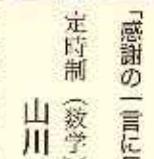
「感謝の一言に尽きます」



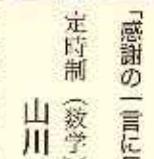
「感謝の一言に尽きます」



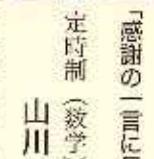
「感謝の一言に尽きます」



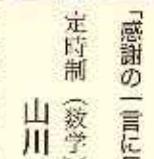
「感謝の一言に尽きます」



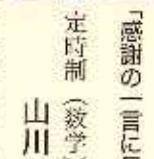
「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



「感謝の一言に尽きます」



学校祭での学び



1年5組
清水 花菜



東高の一大行事学校祭。私は執行部員として携わりました。東高の学校祭は伝統ある素晴らしいものです。今年度の学校祭はコロナ前以来となる山車や仮装行列の実施、チケット制による一般公演が復活しました。全学生誰一人として知らない、ましてや先生方も多くは知らないコロナ禍前の学校祭。過去の資料と見比べながら執行部員OB-OGの方々の話もたくさん聞きました。コロナ禍でできる最高の学校祭を作り上げよう、と、執行部一同全力で活動しました。時には、スケジュールを念入りに組んでいてもうまくいかないこともありました。ですが、成功するか失敗に終わるかわからないことも挑戦し続けること。これは、コロナ禍の学校祭であ

るからこそより感じられたとても大切なことでした。

こだわって実現させるものには必ず時間がかかります。しかし、学校祭期間中は全校生徒の皆さんを感じているように時間が限られています。その中で学校祭をより楽しんでもらうための反省の選択は何か。その答えを決めるのが運営の立場に立つ執行部の責務であると学びました。

ジリジリと太陽が照りつける朝から、真っ暗になった夜までたくさんの仕事を同時並行させ、何一つ手を抜かない先輩方。たくさん思い悩むその背中は、私が今後追うべきもので憧れもあり、日頃でもあると強く感じました。

現在、来年度の学校祭に向けて会議を行っています。今年度学んだ様々なことを活かし、計画そして実行していくいたいと思います。良い学校祭の実現に向けて尽力していきます。

旭川東を、応援します



2年2組
小林紗和子



校内エンジンで、「全校応援」と検索すると、「行きたいな」「あんまりさいいな」と、ネガティブなワードが検索候補として上がります。たしかに、運動部に知り合いかない人も多い、そもそも駄馬に興味がない人にとって、全く校応援というものは嫌なものとして目に映ってしまうのも仕方のないことでしょう。しかし、旭川東の生徒は非常に意欲的に応援に参加し、あまり思えない人の半数が応援団・吹奏楽団・ダンス同好会を取り組み、息を合わせて一緒に踊ってくれました。また閉会式では、なかつた私にとつて、それはとても心強く「より一層」一体となって応援に熱を込めることができました。

来年度もより激しく、より楽しく応援をして、齊音の一ページを飾りたい所存です。ダニヤンドに跨り注ぐスプリンクラーの水にかかる美しい虹や、スタイルで燃焼への道のボンとメガホンとがぶつかり合う音は今でもよく憶えています。会場応援で得られる感動と情感は、高校生の今だからこそ体感しておくべきものなのかなとも感じました。

今こそ嬉しい冬休みを経て、春が解けるのを待つばかりですが、真夏の旭川には激しい雨が降り、北の大地とは思えないほどの気温を記録したと記憶しています。そんな中でフレーレーしていた選手たちと、用川東を応援していなかった生徒・教員・保護者の方々すべても熱意を持って下さった沢山の方々が、私たちは本当に感謝の気持ちを伝えたいと思います。私たちと一緒に走りましたが、とても感謝しています。来年の歩幅大会で重要な経験ができるのも運當にあります。

急歩大会を終えて



1年4組
前畑 明輝



2022年見学旅行



2年6組
**阪本
直央**

暖かな日差しが窓から差し込み、小鳥のさえずりで日を覚ます。2022年10月19日、我々第2学年は4泊5日の見学旅行に出発した。

初めの3日間は、関西に滞在した。初めて訪れた関西は何より飯がうまかった。本場の串カツやお好み焼きに舌鼓を打ち、京都では旭川にはない歴史的な建造物を目撃して、横の中にある和を重んじる心を思い起させたような気がした。人生で初めて訪れたU.S.J.には、幼少期に見た映画の世界が目の前に広がっており、気づけば涙が、ソーセーと頬を伝うのを感じた。

22日からは関東へ降り立った。関西とは違い何回も訪れたことがあるため、今までの懐ただしさから一変し、心の中にある程度の余裕が生まれた。当時の大河ドラマは諫白を舞台にしていて鶴岡八幡宮では「き頬朝公と偉大な諫白の一族たちの歴史を直に感じ取ることができ、時の流れの慘さを感じた。貢献的での東京では、立ち昇



4年生7名、二修制の3年生3名、計10名のみなさん、卒業おめでとうございました。保護者の皆様におかれまして、晴れて卒業を迎えるましたこと、心よりお祝い申し上げます。

仕事と学業の両立は簡単なことではありません。娘で授業中に寝てしまつたことで、テストに向けて充分に勉強する時間が取れなかつたことなど、苦労は多かつたのではないかでしょうか。それでも、二つ二つと粘り強く努力を続けた結果、今日という日を迎えたのです。今年度は、欠席が三日、遅刻早退が八回以内のものに与えられる「精勤賞」を受賞する卒業生がいます。在校生にとって、大きな刺激です。卒業生のみなさんは、四年間ないし三年間、教員と一緒にいたことを誇りに、卒業後も自信を持って活動して欲しいと思います。

さて、定時制では給食があり、二名の調理員さんが、生徒たちの健康や嗜好を熟慮したメニューを毎日提供してくれています。十二月と一月は、卒業予定者のリクエストで、ラーメンを揚げパンなどの人気メニューが並び、大盛況でした。ただ、もう食べられないことを残念がる卒業生も多く見られました。

高校卒業は、ゴールではありません。ありきたりなことですが、卒業によつて社会生活がスタートします。社会に貢献できる人材の育成を目指し、今後も教職員一同、教育活動に誠心誠意取り組んで参ります。



一月二十七日には、生徒会主催の「卒業を祝う会」が開催されました。学校生活を振り返るスライド上映では、優かしい自分の写真を見て歓声や叫び声が上がりました。在校生からのメッセージが書かれた色紙を一人ずつ渡され、名残惜しそうにじっくりと読んでいました。先生方から卒業予定者への一言では、「まだ卒業は決まっていませんよ」とクズを刺されつつ、思い出話に花が咲いていました。

定時制だより

部活動報告

【全道大会】

（西日本）西日本地区大会
（東日本）東日本地区大会
（全国）全国大会